

ご挨拶

堀口 智子

災害報道があるたびに、被災された方々の生活の安定を願うと共に、日頃の備えを見直す大切さを感じます。4月に渋谷区避難行動要支援者ハンドブックが発行されました。その中に「災害時の初動期の行動で自ら避難することが困難な人たちもいて、地域の中での助け合いが必要となります。日頃から住民同士で顔の見える関係を作り、助け合いの精神でつながることが必要です。」と記載があります。障がいのあるご本人たちが地域の中で顔の見える関係性を作れているでしょうか？ご本人たちの力だけでは難しくても、家族や日中活動

先等が地域とつながることで、顔の見える関係性や助け合いの精神でつながっていかれると思います。親の会としても、地域との様々なつながりを作ったり、障がい理解啓発活動に力を入れたりして、優しい地域の中でご本人や家族が暮していられるように努力していきたいと思います。今後ともみなさまのご理解・ご尽力をどうぞよろしくお願いいたします。



第 63 回 定期総会

令和 6 年 5 月 31 日 (金) 総合ケアコミュニティ・せせらぎ
来賓 27 名 出席者 25 名 書面出席者 (委任状) 74 名

令和6年度の定期総会が多くの来賓の方々、会員の皆様を迎え、せせらぎ大会議室にて開催されました。

午前中の第1部は開会の辞から始まり、会長挨拶、区長をはじめ、ご来賓の皆様よりご祝辞をいただきました。また、会員対象に実施された「グループホームについてのアンケート」について報告がありました。その後議事に移り、活動・決算・会計監査報告、活動計画・予算・役員改選を決議しました。お昼は、近況を報告しつつお弁当を。

第2部は、渋谷区障がい者福祉課の皆さん、グループホームけやき 麻生さん、コネクとしぶや 安井さん、福祉作業所ふれんど 古戸さんをお迎えし、グループホームについてや24時間365日相談を受け付け、適切な支援に繋いでくれる「渋谷区障がい者緊急相談窓口」ができたことなどお話しください、会員からの様々な質問、相談にも丁寧にお答えいただきました。この先の時間のために、今できる準備を始めなければと思いを新たにできました。(林 多恵)



渋谷区障がい者
緊急相談窓口
PDF



渋谷区福祉部 部長・課長 新任のご挨拶



渋谷区 福祉部

部長 小野 健一

この4月、新たに福祉部長に着任いたしました。昨年度までは福祉部内の複数の課長を務めていたため、皆様方と既にどこかでお会いしていたかもしれません。

顔を見かけたときは気軽に声をおかけください。

至らぬ点多々あると思いますが、渋谷区の福祉行政を皆様と共に進めていきたいと考えております。未来に向けて意見交換を重ねてまいりましょう。今後ともよろしく願いいたします。



渋谷区 福祉部 障がい者福祉課

課長 黒田 敬久

日頃より大変お世話になっております。4月より新たに障がい者福祉課長に着任しました黒田と申します。これまで、地域福祉課や生活福祉課など主に福祉

行政を中心に経験してまいりました。

渋谷区の障がい福祉がより充実したものにするためには、みなさまからの声がとても大切であると感じています。「渋谷区に住んでいて本当に良かった!」と思えるよう頑張てまいります。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

渋谷区職員研修「障害理解・合理的配慮等について」



9月2日(月)・3日(火)、渋谷区職員研修にしぶはち隊で理解・啓発活動をしてまいりました。グループワークでは、ファミリーレストランに障がいのある子どもを連れた家族が訪れ、突然子どもがテーブルを叩き足を踏み鳴らし、家族も従業員も周りのお客様も困ってしまった、という寸劇をみていただきました。それぞれの気持ちや、どのような配慮が

できるかをグループで考え、話し合った内容の発表と実際にその役になってロールプレイもしていただきました。騒ぐ子どもに落ち着くアイテムを渡したり、従業員が家族に落ち着けそうな場所への移動を促したり、他のお客様に席の移動を提案する場面がみられました。障害を持った人達と関わることでありましたら、研修で感じたことを思い出し、どんな配慮ができるか考えていただけたらと思いました。(角張 宣子)



親なきあと勉強会 「遺言書を書いてみよう!」

講師:「親なきあと」相談室主宰
行政書士 谷田 綾乃 さん

9月の理事会冒頭に「親なきあと勉強会」が開催されました。知的障がい者の親として、親亡き後の遺産分けの時に、遺言書の役割りが非常に重要だと知りびっくりいたしました。また、夫婦各々遺言書を書き、遺言執行者も決めておき、遺言書の置き場も各々共有しておくこと。遺言書は何枚書いてもかまわないけれど、一番最後に書いたものが有効になるとのことでした。あとで後悔しない為にも、今出来る準備をしたいです。(有里 寿子)



東京都手をつなぐ育成会関連行事

対話集会

6月17日(月)・18日(火)
BIZ新宿 (新宿区立産業会館)

令和7年度東京都の
施策・予算に対する対話集会



東京都育成会大会

7月12日(金)
なかのZERO

「ずっとこの街で暮らしていくために
～安心して託し、託される地域へ～」



東京都育成会大研修会

10月4日(金)
国立オリンピック記念
青少年総合センター

「安心して託し、託される地域とは」



作業所見学会

中野特別支援学校PTA・教育部

渋谷区立幡ヶ谷のぞみ作業所



むつみ工房



7月2日(火)、「渋谷区立幡ヶ谷のぞみ作業所」と「むつみ工房」の施設見学会がありました。

のぞみ作業所では『のぞみ叶う招きハチ公』の製作中で、広々とした作業スペースの中で、皆さんと職員の方々との掛け合いが印象的でした。

むつみ工房では、店舗・織物・アート制作・リサイクル仕分けを見学し、皆さんが様々な作業を各々のペースで取り組んでいる様子を見せていただくことができ、どちらの作業所もとても温かい雰囲気でした。
(櫻岡 沙矢香)



連合会知的部レクリエーション・成田山新勝寺



10月5日(土)連合会知的部のバス旅行で成田山新勝寺に行ってきました。昼食は豪華なうなぎ付き定食で、とても美味しかったです。その後雨が本降りになり、傘をさしながらの散策でした。立派な総門をくぐり、大本堂でお不動さまを拝し、三重塔や平和大塔なども見学し、たくさんパワーをいただきました。参拝後はお土産を見たりしてのんびりでき、楽しかったです。予定より早く、無事帰れて良かったです。来年も参加したいです。
(齊藤 緑)



シブヤフォントラボ オープン!

SHIBUYA FONT LAB



4月17日(水)、東急プラザ原宿「ハラカド」7階に「シブヤフォントラボ」がオープンしました。

シブヤフォントは、渋谷でくらし・はたらく障がいのある人の描いた文字や数字、イラストを渋谷でまなぶ学生がフォントやパターンとしてデザインし、企業や団体に使ってもらうことで、渋谷を元気にする活動です。区内の作業所等とコラボしているの、多くの方が身近に感じていると思いますが、拠点が「ハラカド」に移ったことで、より渋谷に溶け込んだ活動として広がっていくのではと期待しています。(林 多恵)

新宿タカシマヤ インクルーシブファッションウィーク
1 SHIBUYAFONT POP UP SHOP・9月4日(水)~10日(火)
~ショウガイはへんしんできる~



動画配信中
ショウガイは
へんしんできる。
~インクルーシブ
ファッションショー~



シブヤ
フォント



1



2



シブヤフォントラボが東京ビックサイトに出張!
2 実験的出会いの場・10月2日(水)~4日(金)
モノづくり アートづくし ラボラトリー



の取材を受けました!

7月9日(火)「NHK首都圏ネットワーク」で障がい者の選挙の特集が放送されました。この特集で、堀口会長親子と共に取材を受け、障がいのある我が子の選挙について、考えや想いをお話しました。知的障害者らの選挙権を認める改正公選法が施行されて今年で11年。投票所ごとに違いはあるものの、障がい者が円滑に投票できるよう、取り組んでいます。どんな障がいがあっても投票しやすい環境作りを、皆さんと考えていければと思います。(道井 美樹)



WEB 特集: せんきょ、だいじ。

閉ざされていた世界からの1票

新入会員のおしらせ!

- 龍円 愛梨さん (青山特別支援学校)
- 竹内 亮太さん (武蔵野東学園)
- 新居 加寿子さん (青山特別支援学校)
- 梶本 幸世さん (港特別支援学校)
- 金澤 伸江さん (青山特別支援学校)
- 茶谷 久美子さん (光明学園)



訃報

心よりご冥福をお祈りいたします。

会員 川部 春子 様のご夫君 登志美 様は
令和6年8月14日 ご逝去されました。(享年70歳)

会員 扇山 信市 様は
令和6年10月28日ご逝去されました。(享年90歳)

訂正とお詫

244号(前号) 4ページ・右段上部

「新社会人デビューおめでとう」の 福井 理沙さん
誤 港特別支援学校 ⇒ **正** 青鳥特別支援学校

編集後記

今年から誌面を刷新した「プリズム」。

QRコードを活用して掲載しきれない情報をお伝えしています。少しずつ変化している「プリズム」にご期待ください!
(道井 美樹)

賛助会員費ありがとうございました!

- 谷口 奈保子 様
- 野崎 克己 様
- 逸見 貴之 様
- 小俣 洋子 様
- 小川 晃 様
- 石原 朝子 様
- 矢部 一 様
- 古戸 勉 様
- 杉原 圭子 様
- 宮武 都己子 様

